

**カーボンネットゼロの実現に向けて**  
**「世界初の電動ラフテレーンクレーン」の商品化計画を発表**

株式会社タダノ（本社：香川県高松市、代表取締役社長：氏家俊明、以下タダノ）は、中期経営計画（21-23）で掲げる「2050年カーボンネットゼロ」の実現に向けた「**Tadano Green Solutions\***」の一環としてこのたび「世界初となる電動ラフテレーンクレーン」の商品化計画を発表します。今後、さまざまな業界・パートナーの支援をいただきながら、2023年内の製品発売を目指します。

**\* Tadano Green Solutionsとは**

社会の一員として、地球環境の改善、脱炭素社会の実現に貢献するためのタダノグループの取り組みを「Tadano Green Solutions」と名付けます。



**< 1 > 製品の構想**

現在、我々のLE製品は「ディーゼルエンジン」を搭載し、現場まで走行するとともに、エンジンの回転力で油圧ポンプを動かし、より重いものを、より高く吊り上げることができています。特にクレーンの場合は車両重量が大きく、稼働・走行には多くの軽油を消費し、多くのCO2を発生しています。製品が排出するCO2は、当社グループの工場など事業活動で排出するCO2を大きく上回ります。未来の地球のため、気候変動対応のために、製品のCO2排出削減は私たちの大きな課題です。

先日、電気力で油圧ポンプを駆動するシステム「E-PACK」の日本発売を発表したところですが、E-PACKを使用すれば、クレーン作業時はエンジンを始動させずに作業できるため、作業時のCO2排出をゼロにすることができます。

このたび当社は、電気力で作業と走行ができる、世界初の電動ラフテレーンクレーンの日本向け製品の商品化計画を発表します。電動ラフテレーンクレーンは、クレーン作業・走行ともにCO2排出をゼロにすることができます。

すでに試験は実施中であり、今後さまざまな業界・パートナーの支援をいただきながら、2023年内の発売を目指します。

製品名	未定（世界初の電動ラフテレーンクレーン）
発売国	日本
仕様・主要諸元	未公表
発売時期	2023年内（予定）



## ＜2＞タダノグループが目指す未来

タダノグループは「企業は社会や人との調和の中で生かされている存在」という創業当時の考え方に沿って、ステークホルダーとの調和を重視した事業活動を行ってきました。これに沿って「社会の一員として、地球環境の改善に貢献したい」「次なる100年を見据え、企業の長期的な成長につなげたい」という思いから、ESG・SDGs推進に取り組んでいます。

2021年4月には、2050年を目途に「カーボンネットゼロ」を目指していくことを宣言しました。その過程として、グループ長期環境目標として「2030年までに事業活動におけるCO2排出量25%削減」「製品におけるCO2排出量35%削減（いずれも2019年度比）」を設定し取り組んでいます。

「Tadano Green Solutions」として、E-PACKの日本発売や、今回発表する「世界初の電動ラフテレーンクレーン」の開発は、いずれも製品におけるCO2排出量の削減に大きく貢献できるものと考えています。

また電動化によって操作におけるAIとの相性も良くなり、安全・品質・効率の面で大きく寄与する可能性も生じてきます。今後は、ラフテレーンクレーン以外の製品・カテゴリにおいても、積極的に電動化の検討を進めていきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先は

**株式会社 タダノ**

総務部総務グループ

TEL 087-839-5601